

青森西高校剣道部



「打つ機会の探求」・「能動的且つ俯瞰力のある人間の育成」

＊能動的（のうどうてき）：自らが考えて物事に取り組む
俯瞰力（ふかんりょく）：全体を見渡す力、物事の全体像を読みとる力

部員 男子9名・女子7名

3年:倉本一輝(大間)、福井輝流(三内)、船橋健心(小湊)、漆戸羽琉(七戸)、工藤望愛(小湊)、逢坂 祥(沖館)、熊谷 奏(造道)
2年:御厩敷琉生(大間)、中林来華(沖館)、大山泰芽(西平内)、木明稔貴(野辺地)、成田幹汰(浪岡)
成田陽南(沖館)、木村心咲(浦町)、野呂美羽(新城)、阿部瑞月(油川)

指導者

監督：木村秀樹（教士七段）

顧問：山谷千春

コーチ：古川大輔（五段）

北谷将太郎（五段）



令和元年～令和4年までの大会参加実績

4月:三条杯争奪剣道大会（新潟県）

二戸剣道錬成会（岩手県）

5月:東北剣道錬成会(秋田県)

県春季大会

県北剣道錬成会(秋田県)

6月:県高校総体

青森国スポ強化事業（青森西高）

東北選手権大会

8月:国際武道大弘毅会剣道大会(千葉県)

青森国スポ強化事業（青森西高）

インターハイ（R4高知県）

9月:剣誠旗剣道大会(五戸町)

東青地区剣道錬成会(青森西高主催)

10月：青森市武道祭(青森市)

日本海旗争奪剣道大会(山形県)

11月:県新人戦

12月:千葉遠征(成田市)

つくばね旗剣道大会(茨城県)

剣道錬成会(青森西高主催)

1月:天間林剣道大会(七戸町)

青森国スポ強化事業（青森西高）

青森県高校剣道錬成会(青森西高主催)

2月:東北選抜剣道大会

3月:全国選抜剣道大会（R2 愛知県）

令和3年度 県高校総体

男子団体 準優勝 女子団体 準優勝

男子個人 準優勝 西田（インターハイ出場）

第5位 泉

女子個人 第3位 湊谷

令和3年度 県春季大会

男子団体 優勝(初) 女子団体 準優勝

男子個人 優勝(初) 西田

令和2年度 県下新人大会

男子団体 準優勝（東北選拔出場）

女子団体 準優勝(全国選拔出場、東北選拔出場)

男子個人 第3位 西田

ベスト8 船橋

女子個人 ベスト8 船水

令和4年度 県高校総体

男子団体 優勝(初)(インターハイ出場、東北選手権出場)

女子団体 第3位（東北選手権出場）

男子個人 第3位 福井、御厩敷

第5位 倉本

女子個人 第5位 逢坂

令和4年度 県春季大会

男子団体 優勝(2年連続)

女子団体 準優勝

男子個人 優勝 御厩敷

第3位 船橋

令和3年度 県下新人大会

男子団体 準優勝（東北選拔出場）

女子団体 準優勝（全国選拔出場、東北選拔出場）

男子個人 ベスト8 倉本、福井、御厩敷

女子個人 ベスト8 工藤望愛



打つの機会の探求

～正しく 強く 美しく～

令和8年度青森国スポ強化拠点校に指定

県より青森国スポの強化拠点校としての指定を受け、本校剣道部監督の木村秀樹が少年男子の部の監督に任命されました。また、年に数回スーパーバイザー亀井徹先生（熊本県警）、山崎尚先生（愛知県警）による技術指導や強化が行われることになります。既にコロナ禍でも強化に向けた稽古を優先してできるようになっています。

日々の練習の中で監督から試合に挑むに当たっての駆け引き、間合いの探り合い、攻め、誘い、ための技術に関する指導があり、在学中に生涯に渡って剣道に関わっていく素地を身につけることができます。先輩から後輩への指導や、仲間同士でのアドバイスをし合うことも毎日あり、切磋琢磨して向上心を持った稽古が実現できます。



基礎基本と実戦力を 身につけられる環境



試合場を2面とることができ、風通しの良い明るい道場で練習を行っています。冷房や扇風機も完備されており夏でも快適に稽古に打ち込めます。また、学校の立地に関しても新青森駅から徒歩10分以内であるため電車通学に困らず、新幹線を通うこともできます。青森市外から通学する生徒や下宿している生徒も多く切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。

今年度から本校に赴任された剣道部顧問の山谷千春教諭はアテネオリンピック、北京オリンピックのレスリング競技で2大会連続銀メダルを獲得した旧姓伊調千春選手です。選手強化のための先進的かつ専門的なトレーニング指導並びにメンタル面の指導を日々の練習で行っております。



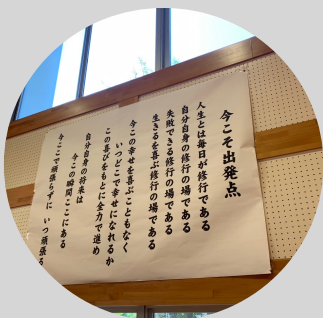
能動的且つ俯瞰力のある人間の育成

自ら考え判断する

一人ひとりが目標を持って稽古に励んでいます。「勝つ」ことが目標の生徒もいれば、「基礎を身につけたい」という目標の生徒まで様々です。個人目標とは別に部員で話し合っ

て決定する全体の目標もあり、自分たちが立てた目標に向かって向上心を持って取り組みます。

部員は日々の練習の反省を日誌に記録し積み重ねます。練習メニューや合宿での就寝時間なども仲間と相談してから監督に確認をとり、主体的に考え、リーダーとしての成長を図ります。



相手の心を打つ

試合での貴重な一本を手に入れるためにできることは日常生活の中にこそあると考えています。「得をとるな徳をとれ」という人のために尽くすことの教えをもとに「気配り」「心配り」ができるように日々稽古を重ねます。青森西高校剣道部は生涯にわたって社会で必要とされる人材の育成に力を入れています。



進路実現への道

過去5年間の進学先

国立宮城教育大学、釧路公立大学、国際武道大学、東北学院大学、日本女子体育大学、実践女子大学、拓殖大学、札幌学院大学、青森中央学院大学、仙台大学、八戸看護専門学校など

*現在在籍している生徒の中にも国公立大学を目指している生徒が多数おります。

過去5年間の就職先

青森県警、神奈川県警、北海道警、自衛隊、一般企業など

